

工事仕様書

工事名称 三原市大和支所空調設備改修工事

工事場所 三原市大和町下徳良

工事内容 本工事は、大和支所の空調設備の改修工事を行う。

【工事概要】

空気調和設備改修工事

内装改修工事

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 令和4年版 国土交通省官房官庁営繕部監修) に基づき施工する。

別途発注工事

- ・三原市大和支所太陽光発電設備等設置工事

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・消防法、同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・建設業法、同施行令、同施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

別途工事の設計図書について、取り合いなどの整合を確認すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。

商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。

設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和7年3月31日をもって工期とする。

このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

留意事項

- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。
- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領」（令和6年4月1日制定）に基づき実施するものとする。
- ・工事着手前までに「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」である旨を工事現場に設置すること。
- ・週休2日を達成できなくなった場合は、その達成状況に応じて労務費の補正額を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データとすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて施設利用者の通路の通行制限を行うこととする。工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・工事の詳細については、事前に施設管理者へ説明を行い、承諾を得ること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・工事関係者等の作業に関わる全員については、周辺住民への心遣いとして挨拶を徹底すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者へ説明を行い、了承を得ること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事車両は、場内を5k m/h以下で徐行すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事を含むものとする。
- ・設備機器の固定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」の基準に基づいて検討し、監督員と協議の上、施工すること。
- ・BELSの認証を取得しているため、変更がある場合は仕様や能力に注意すること。
- ・BELSの認証を再取得する必要がある場合は計算と認証取得を本工事で行う。計算等は入札設計時に行ったものをベースとして受注者が行う。必要な各種手続きは、受注者の負担により行う。
- ・工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・施工にあたり、既設天井及び壁面等を加工する必要がある場合は、監督員と協議の上、石綿含有建材の調査を

実施すること。

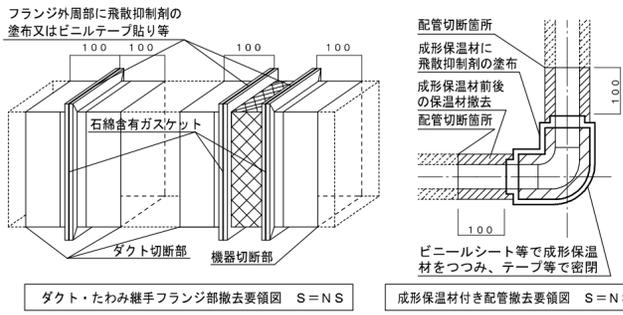
- 石綿含有建材の調査（書面及び目視調査、検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、又は特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- 工事着手前までに石綿含有建材の事前調査結果を書面にまとめて発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- 石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を含む。分析は定性及び定量（JIS A 1481-1及びJIS A 1481-3による。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）について3検体を見込んでいる。
- 石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- 工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- 本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- 広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- 工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
- 書面での提出が必要なもの（完成図書、建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- 工事完了後、完成図として製本図面（縮小版・二つ折り・A4版）を3部提出すること。
- 以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

三原市大和支所空調設備改修工事

番号	図面名	縮尺
M-00	表紙、図面リスト	—
M-01	機械設備特記仕様書（一般共通事項）	—
M-02	機械設備特記仕様書（工種別事項）	—
M-03	配置図 付近見取図	1/400, 1/3000
M-04	管種凡例 特記事項	—
M-05	空調設備 改修後 機器表（1）	—
M-06	空調設備 改修後 機器表（2） 改修前 機器表	—
M-07	空調設備 1階平面図	1/200
M-08	空調設備 2階平面図	1/200
M-09	空調設備 改修後 1階平面詳細図	1/100
M-10	空調設備 改修後 2階平面詳細図	1/100
M-11	空調設備 改修前 1階平面詳細図 オイルタンク廻り詳細図	1/100
M-12	空調設備 改修前 2階平面詳細図	1/100
M-13	建築工事 改修後 1階平面図	1/200
M-14	建築工事 改修前 1階平面図	1/200
M-15	建築工事 改修後 2階平面図	1/200
M-16	建築工事 改修前後 1階平面詳細図	1/100
M-17	建築工事 1階支所エリア パーテーション新設図	1/50
M-18	建築工事 改修後 パーテーション詳細図	1/5
M-19	建築工事 改修後 家具部分詳細図	1/20

		株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名 三原市大和支所空調設備改修工事	縮尺 —	図面番号 M 00
			図面名 表紙、図面リスト		

空 気 調 和 機 換 気 設 備	① 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気 条 件</th> <th colspan="4">室 内 (調 整 目 標 値)</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿 度</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿 度</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿 度</th> </tr> <tr> <td>夏季 34.9℃</td> <td>51.0%</td> <td>28.0℃</td> <td>50.0%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季 -0.2℃</td> <td>69.9%</td> <td>19.0℃</td> <td>50.0%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) 2) 膨脹・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼管 (黒管) 5) 蒸気還水 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370Sch40) 6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼管 (黒管) 7) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) 9) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 トランプの形式はフロートボール式 (床置型) ※ FRP製保温型 1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける</p> <p>3) ばいじん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに調じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量30.000m³/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷凍水管の接続部 (往・還) にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む) パッケージ形空気調和機の記載による。</p> <p>集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能 (外部記憶媒体への出力機能含む) リモコンの系統区分は図示による。 図材ユニットは (・ 再生式 ・ 非再生式) とし、形式及び性能等は図材による。 形式 ※ 滴流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1) 据付け方法は ※ 標準図 (施工32) (二重殻タンク) ・ 標準図 (施工33) (タンク室有り) 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遠隔油量指示装置 (液面計は (・ 抵抗変換式 ・ 磁歪式) で (・ 屋内 ・ 屋外) より油量監視用) を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 (但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事) 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) 油面計はゲージ式 (側圧式) とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの厚板は「火災予防条例準則の運用について」による。 2) シーリングディフューザーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ×100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>21. グリス除去装置 22. 風量測定口</p> <p>23. 温度計 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサブライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付きし温度計</p> <p>24. 圧力計 25. ダンパー (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 遠隔復帰式 (定格入力はDC24V、0.7A以下) ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形</p> <p>26. 定風量・変風量ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き</p> <p>1) エア溜まりを生ずるとされる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置 (※ 手動 ・ 自動) を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図 (施工38 (g)) による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。</p>	外 気 条 件		室 内 (調 整 目 標 値)				温度 (DB)	湿 度	温度 (DB)	湿 度	温度 (DB)	湿 度	夏季 34.9℃	51.0%	28.0℃	50.0%	℃	%	冬季 -0.2℃	69.9%	19.0℃	50.0%	℃	%	28. 消音内貼り 29. 機器用基礎 30. 空調用流体の水質基準 31. フィルターの予備品	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振板及び振動絶縁効率率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用水質ガイドライン) による。 空気調和機器等又はフィルターチャンパーの装着効率の100%を予備品 (枠付) として納める。 ファンコイルユニットは総台数の (・ 50% ・ 100%) に当たるフィルターを予備品 (枠付) として納める。 自動巻取り形及びグリーンフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	排 水 設 備	2. 排水金物 3. 汚水、雑排水及び汚物水中モーターポンプ 4. 接続納付金等 5. 樹のコンクリート巻き	4) 屋外排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (車道部)	記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。 水中形三相誘導電動機は、(・ ※ 乾式 ・ 油封式) とする。 電動機の極数は図示による。 着脱装置、ストローナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事 ・ 本工事 小口径等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	石綿含有設備資材の処理について I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガasket撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 II. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構内搬出適切処理とする。 (3) 構内搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。
	外 気 条 件		室 内 (調 整 目 標 値)																														
温度 (DB)	湿 度	温度 (DB)	湿 度	温度 (DB)	湿 度																												
夏季 34.9℃	51.0%	28.0℃	50.0%	℃	%																												
冬季 -0.2℃	69.9%	19.0℃	50.0%	℃	%																												
② 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1. ダクト 2. 排煙口 3. 排煙口開放及び復帰方式 4. 排煙風量測定	※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 (厚1.6mm) ・ パネル形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ スリット形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ ダンパー形 (・ 天井内取付 ・) 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ・ 要) 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1による耐熱・耐火ケーブルとする。 建築設備定期検査業務基準書2016年版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。	給 湯 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 弁類 3. 保温	1) ・ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 2) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。 湯沸器の給排水筋の隠え箇所は保温 h・(イ)・Ⅹ を行う。	1) ・ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 2) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。 湯沸器の給排水筋の隠え箇所は保温 h・(イ)・Ⅹ を行う。	1) 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 2) 消火栓弁の耐圧 3. 保温 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅶ による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結放水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鑄鉄製 (要部青鋼製) ・ ステンレス鋼製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ・ ※ 10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅶ による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結放水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鑄鉄製 (要部青鋼製) ・ ステンレス鋼製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ・ ※ 10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅶ による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結放水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鑄鉄製 (要部青鋼製) ・ ステンレス鋼製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製																								

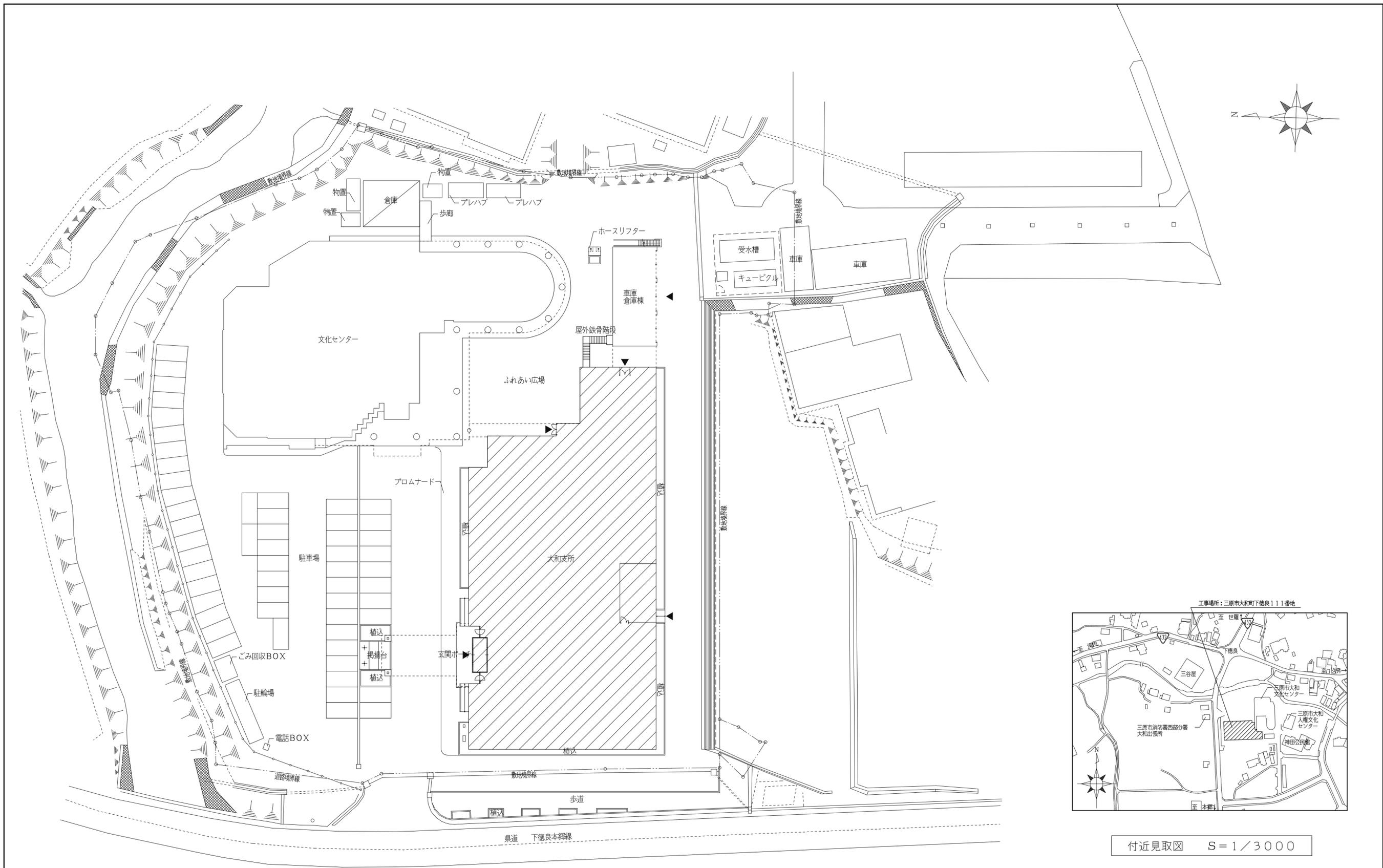


建築物解体工事 (機械設備の部)

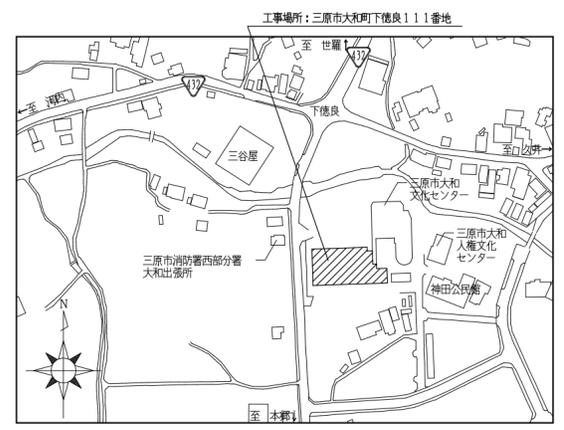
I. 工 事 概 要 (解体工事の部)
1. 工 事 内 容 (解体工事の部)
1) 特記仕様書 (機械設備の部) I. 2. 建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。
2) アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋め戻し・整地は別途建築工事とする。
3) 本工事による撤去機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。(図面は参考とする)
(1) 建物については、
①重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。
図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。
(コンクリート基礎の撤去は含む)
②人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。
フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。
③熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、
(※ 本工事 ・ 別途工事) とする。
(2) その他の機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機による取り壊しとする。
(3) 屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。
図示された樹類のうち、量水器樹、弁樹、散水栓BOX、ため樹、インバート樹は、建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。
配管およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。
(4) 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。
4) 撤去する配管、ダクト (付属品含む) の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。
5) 浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。
(浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない)

II. 工 事 仕 様 (解体工事の部)
1. 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)」 (以下、「解体共通仕様書」という。) により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書 (機械設備工事の部) による。

三原市大和支所空調設備改修工事	
特記仕様書 (工種別事項)	M
	02



配置図 S = 1 / 400



付近見取図 S = 1 / 3000

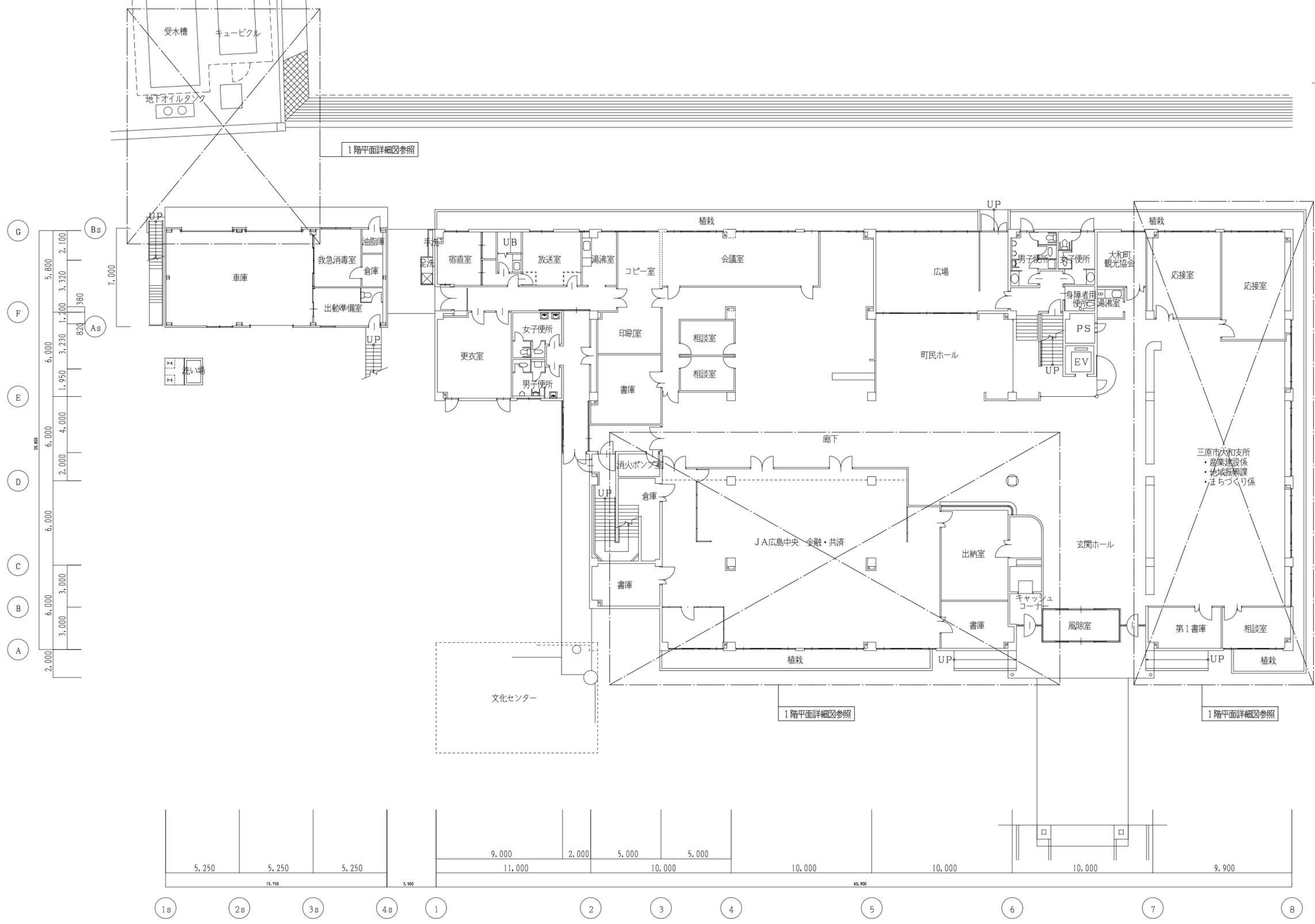
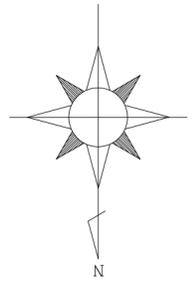
株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明 印	工事名 三原市大和支所空調設備改修工事	縮尺 1/400, 1/3000	図面番号 M
	図面名 配置図、付近見取図		03

管種凡例（既設・新設共）		
記号	名称	仕様
—— —	給水管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HVP） JIS K 6742
—— R ——	冷媒配管	断熱被覆銅管（機器メーカー指定品、二次側電気配線共）
—— D ——	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） JIS K 6741 または JIS K 6742
—— OA ——	給気ダクト	円形ダクト（一般）：スパイラルダクト、矩形ダクト（一般）：亜鉛鉄板
—— EA ——	排気ダクト	円形ダクト（一般）：スパイラルダクト、矩形ダクト（一般）：亜鉛鉄板
—— SA ——	空調ダクト	円形ダクト（一般）：スパイラルダクト、矩形ダクト（一般）：亜鉛鉄板 ※新設ダクトは保温付フレキシブルダクトを使用の事（新設機器ACP-2, 3）
—— OS ——	オイル配管（往）	配管用炭素鋼管（SGP-黒） JIS G 3452
—— OR ——	オイル配管（還）	配管用炭素鋼管（SGP-黒） JIS G 3452
//////	撤去配管	
—— II ——		配管切断箇所を示す
— # — # —		リモコン配線を示す（CBE1. 25° - 2C）
Ⓜ		リモコンを示す
⊗		コア抜きを示す。（ダイヤモンドカッターによる。穴埋め補修共。）

※特記事項
・パッケージ形空調機は製造者の標準仕様とする。
・パッケージ形空調機と機能力表示はJIS条件による。（JIS B 8627）
・使用する冷媒は、オゾン層破壊係数0のものとする。
・機器は、採用するメーカーにおいてAPF（JIS B 8616：2015）が最高値の機種とする。
・電源線、操作線は製造者の標準品（エコケーブル仕様）とし、露出部は屋内外ともに保温化粧ケース内に配線する。
・外壁部の保温化粧ケース、固定ビスを長ビス（6φ×30mm、SUS製）とし、継手無及びかん合部にコーキングを行う。また、適所に水抜き穴を設ける。
・屋内機は、支持部（天井スラブ等）と機器固定部間に、振れ止めを4面に設ける。ただし、支持部と機器固定部間が250mm以下の場合を除く。
・使用するアンカーはおねじアンカー（立管支持を除く）とし、屋内機用のアンカーはおねじアンカー（ウェッジ式）とする。
・撤去する機器の廃油類は回収し、法令に従い適正に処理する。埋設オイルタンク清掃後は砂りめ処理とすること。
・定格冷房能力28.0kW以下の機器（EHP）は、グリーン購入法適合品とする。
・図中に記載する配管架台の寸法及び新設の冷媒管サイズは、参考とする。
・リモコン配線立上げ露出部はメタルモールを使用の事。また、OA室についてはリモコン配線は再利用するものとする。
・外壁コア抜きの際の処分はアスベストみなし有とし特別管理産業廃棄物として処分を行なうこと。また作業時も法令に従い適正に作業を行なうこと。
・図中に記載してあるものは全て本工事とする。
・採用する機器により、ドレンアップ後の口径が本図と異なる場合は、受注者の責任において、製造者標準口径にて施工を行うものとする。
・採用する機器により、既設冷媒管キット、保温化粧ケース、コンクリート基礎、架台及びフェンス等の新設、改修が必要となる場合は、受注者の責任において施工を行うものとする。
・採用する機器により、配管及び配線等の追加の改修が必要となる場合は、受注者の責任において施工を行うものとする。
・延焼にかかる部分は法令に従い適切に対処すること。
・新設機器を接続する前に、設置しようとする機器の設計圧力にて、既設冷媒管の気密試験を行う。
・既設冷媒管の洗浄が必要な場合は、新設機器製造者の施工要領等に従い、適切に処理する。

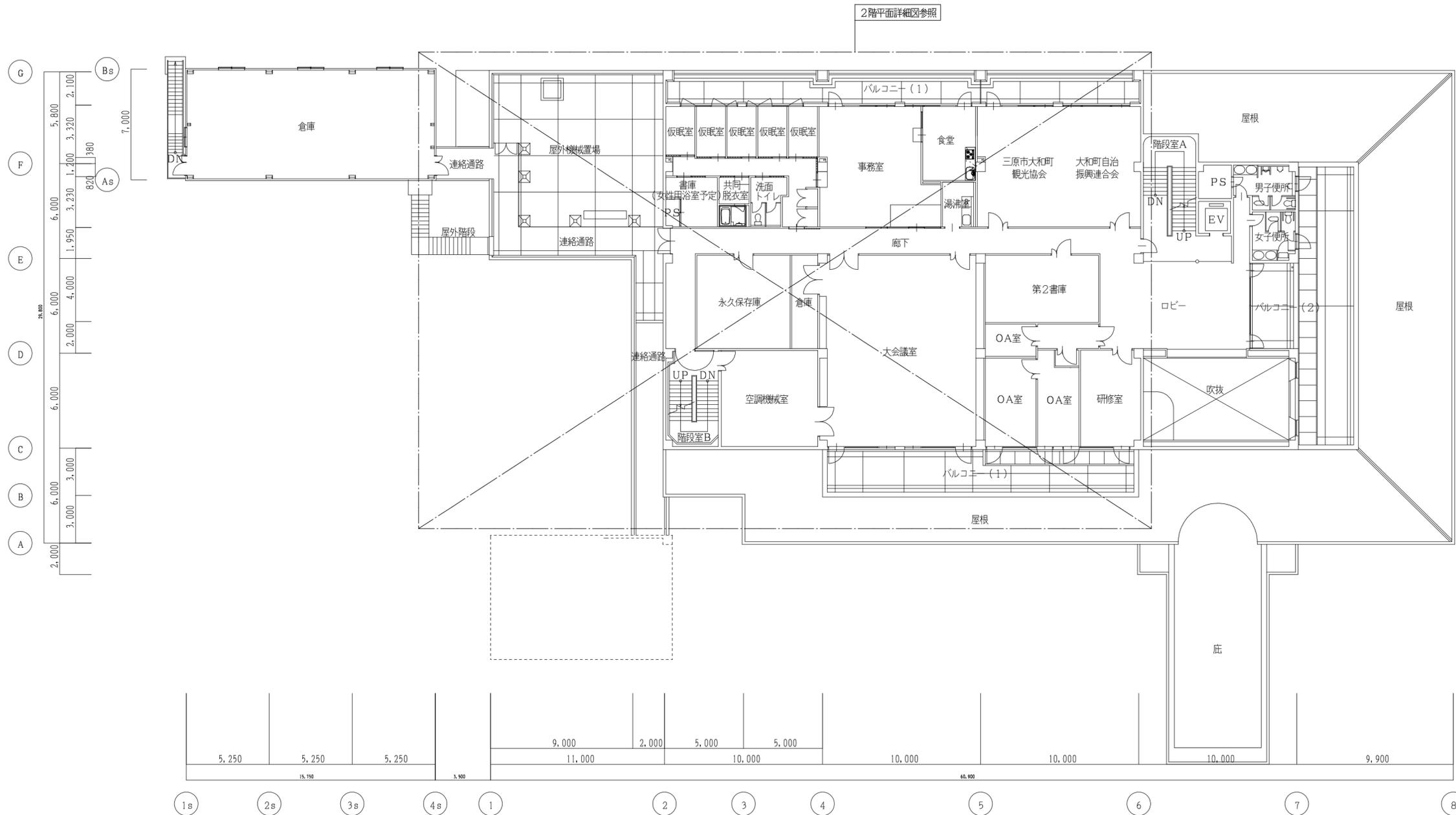
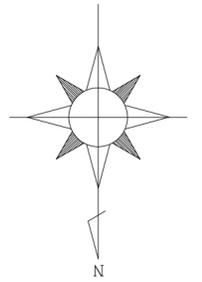
機 器 表 ※改修後							
記 号	名 称	仕 様	電 源			台 数	設 置 場 所
			φ	V	kW		
ACP-7	パッケージエアコン	型 式 : 空冷ヒートポンプパッケージエアコン, インバーター制御				1	(外) 2階北側ベランダ (内) 2階大会議室
		ツイン, 天吊露出					
		冷房能力: 12.5kW					
		暖房能力: 14.0kW					
		送風機 : (屋内機)	3	200	0.095		
		(屋外機)	3	200	0.06×2		
		圧縮機 : (屋外機)	3	200	2.8		
		附属品(屋内機) : ワイヤードリモコン, ドレンアップメカ					
		防振吊金具					
		附属品(屋外機) : 防振ゴム, コンクリートブロック					
上向き風向板, 転倒防止金物							
他標準附属品一式							
【参考型番】三菱電機: PCZX-ZRMP140K4							
ACP-8	パッケージエアコン	型 式 : 空冷ヒートポンプパッケージエアコン, インバーター制御				1	(外) 2階外部機械置場 (内) 2階OA室
		シングル, 天井カセット形(4方向吹出)					
		冷房能力: 7.1kW					
		暖房能力: 8.0kW					
		送風機 : (屋内機)	3	200	0.05		
		(屋外機)	3	200	0.06		
		圧縮機 : (屋外機)	3	200	1.6		
		附属品(屋内機) : ワイヤードリモコン, ドレンアップメカ					
		防振吊金具					
		附属品(屋外機) : 防振ゴム					
他標準附属品一式							
【参考型番】三菱電機: PLZX-ZRMP80HF4							

機 器 表 ※改修前							
記 号	名 称	仕 様	電 源			台 数	設 置 場 所
			φ	V	kW		
PAC-3	パッケージエアコン	型 式 : 空冷ヒートポンプパッケージエアコン, インバーター制御				1	(外) 2階外部機械置場 (内) 2階OA室
		シングル, 天井埋込カセット形(4方向吹出)	3	200	-		
		冷房能力: 7.1kW					
		暖房能力: 8.0kW					
		冷媒ガス: R32 2.9kg 附属品 : ワイヤードリモコン					
		他標準附属品一式					
		ダイキン: SZRC80BT					
FCR-04	ファンコイルユニット	型 式 : ファンコイルユニット				1	1階応接室(小)
		天井埋込ダクト形	1	100	-		
		冷房能力: (全熱) 2320kcal/h					
		暖房能力: 3920kcal/h					
		水量: 9L/min 風量: 700CMH					
FCR-08	ファンコイルユニット	型 式 : ファンコイルユニット				1	1階応接室(大)
		天井埋込ダクト形	1	100	-		
		冷房能力: (全熱) 4540kcal/h					
		暖房能力: 7820kcal/h					
		水量: 12L/min 風量: 1350CMH					



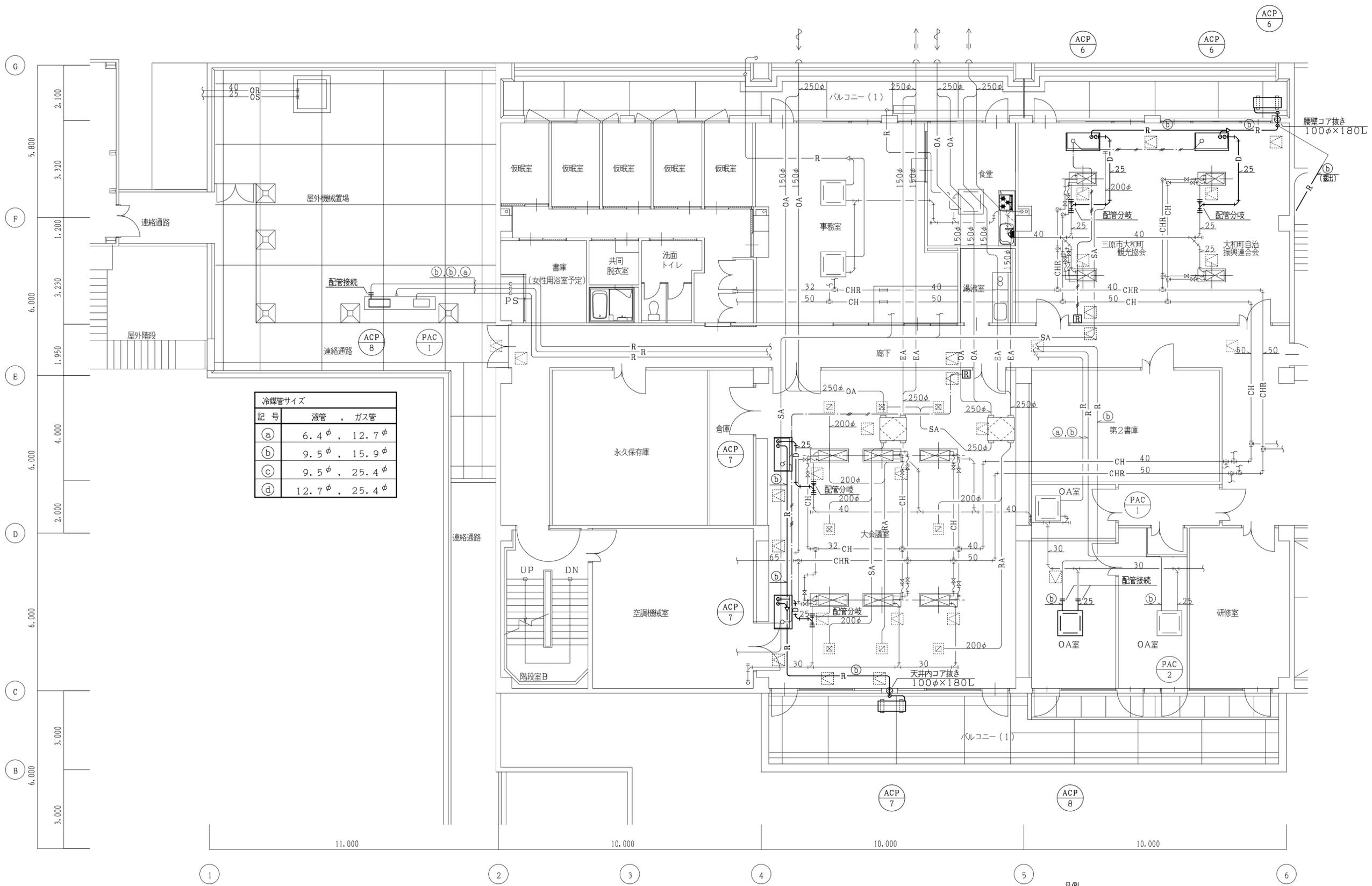
1階平面図 S = 1/200

株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名 三原市大和支所空調設備改修工事	縮尺 1/200	図面番号 M
	図面名 空調和設備 1階平面図		07



2階平面図 S = 1/200

株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名 三原市大和支所空調設備改修工事	縮尺 1/200	図面番号 M
	図面名 空調和設備 2階平面図		08



冷媒管サイズ	
記号	液管 , ガス管
①	6.4φ , 12.7φ
②	9.5φ , 15.9φ
③	9.5φ , 25.4φ
④	12.7φ , 25.4φ

改修後 2階平面詳細図 S=1/100

凡例
 点検口を示す。(太線:新設 細線:既設)

OT-1 オイルタンク (重油回収後内部砂埋め処置)
 地中埋設型 実容量: 1900L (A重油)
 寸法: 950φ×2700L
 附属品: 検知器, マンホール他一式

PO-1 オイルポンプ (残置)
 歯車型 屋外仕様
 能力: 12φ×10L/min×4kg/cm²

改修前 オイルタンク廻り詳細図 S=1/100

改修前 1階平面詳細図 S=1/100

凡例
 [点検口] 点検口を示す。(太線: 新設 細線: 既設)

既設天井材
 RW化粧石膏ボード ◎=9

応接室 (大) FCR-08
 チャンバーボックス
 (参考) W1392×D500×H192
 (参考) W1287×D500×H120
 応接室 (小) FCR-04
 チャンバーボックス
 (参考) W791×D500×H192
 (参考) W702×D500×H120

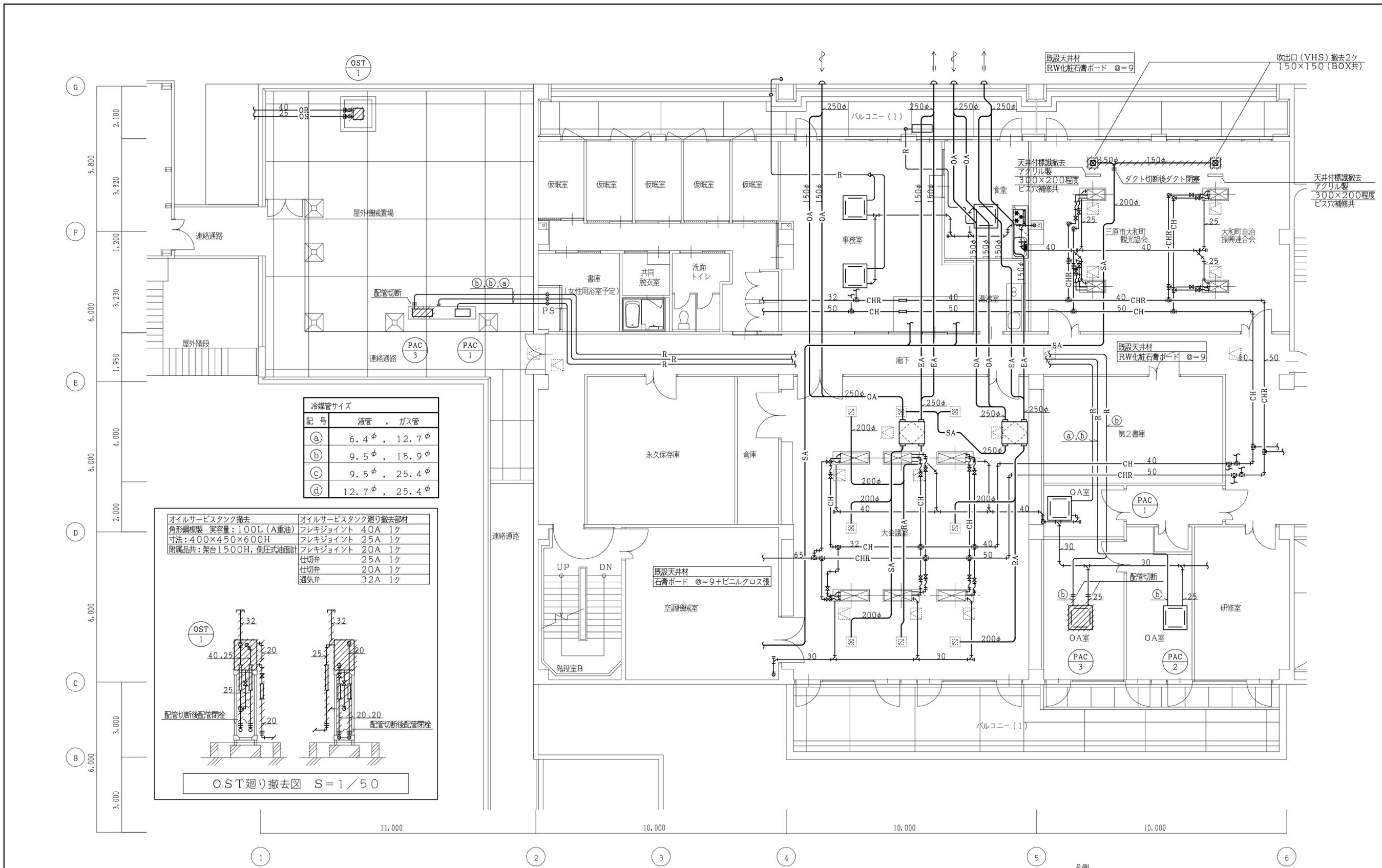
大和町
 観光協会
 ダクト及び配管切断
 ※各所共通
 冷温水配管は切断後野栓

リモコン撤去
 配線再利用

FCR 04 FCR 08

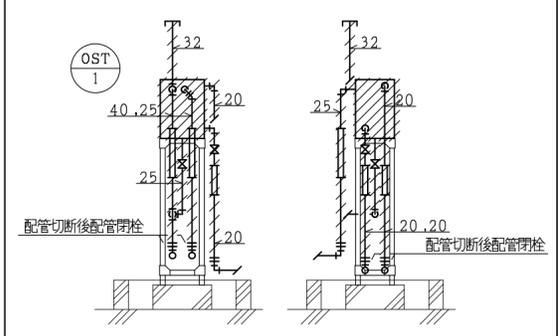
既設植栽撤去 (本工事)
 (参考) 2.1m²
 植栽用土撤去
 (参考) 1.05m³
 撤去後土崩れ防止ネット張ること

既設植栽撤去 (本工事)
 (参考) 2.1m²
 植栽用土撤去
 (参考) 1.05m³
 撤去後土崩れ防止ネット張ること



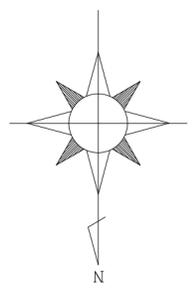
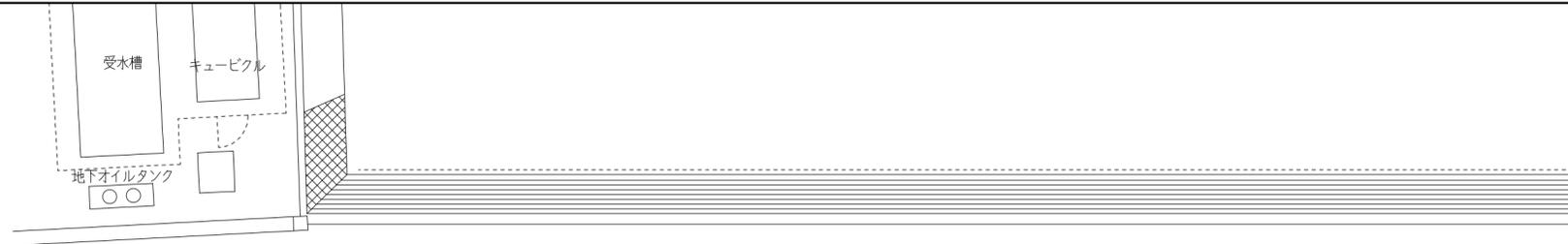
冷媒管サイズ	
記号	液管 , ガス管
(a)	6.4φ , 12.7φ
(b)	9.5φ , 15.9φ
(c)	9.5φ , 25.4φ
(d)	12.7φ , 25.4φ

オイルサービスタンク撤去	オイルサービスタンク廻り撤去部材
角形鋼板製 実容量：100L (A重油)	フレキシジョイント 40A 1ヶ
寸法：400×450×600H	フレキシジョイント 25A 1ヶ
附属品共： 架台1500H, 側圧式油面計	フレキシジョイント 20A 1ヶ
	仕切弁 25A 1ヶ
	仕切弁 20A 1ヶ
	通気弁 32A 1ヶ

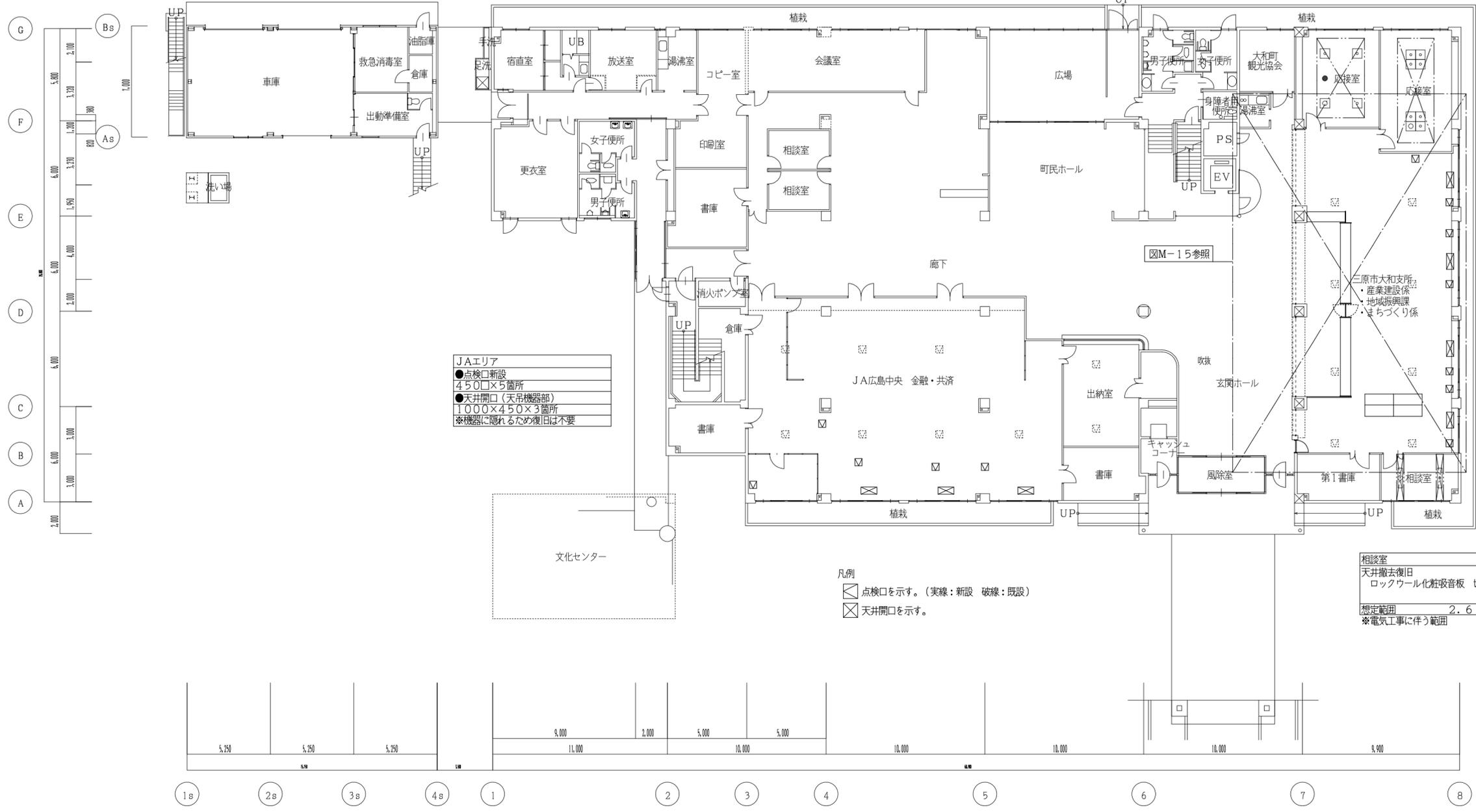


改修前 2階平面詳細図 S=1/100

凡例
 点検口を示す。(太線：新設 細線：既設)



応接室 (大)	天井撤去復旧 (高天井部のみ) PB t=9.5下地 ビニルクロス貼
想定範囲	15.13㎡
応接室 (小)	天井撤去復旧 (高天井部のみ) PB t=9.5下地 ビニルクロス貼
想定範囲	15.00㎡

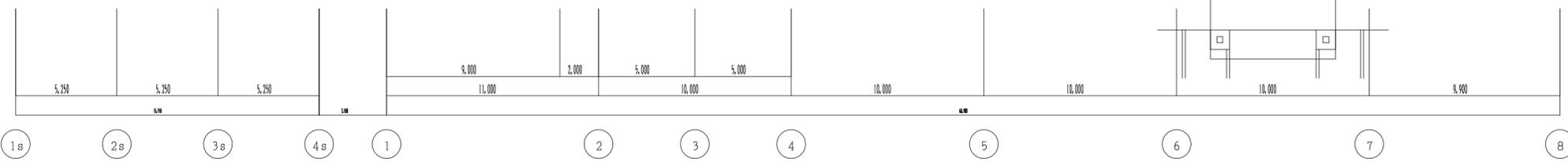


JAエリア	
●	点検口新設
	450×5箇所
●	天井開口 (天吊機器部)
	1000×450×3箇所
※機器に隠れるため復旧は不要	

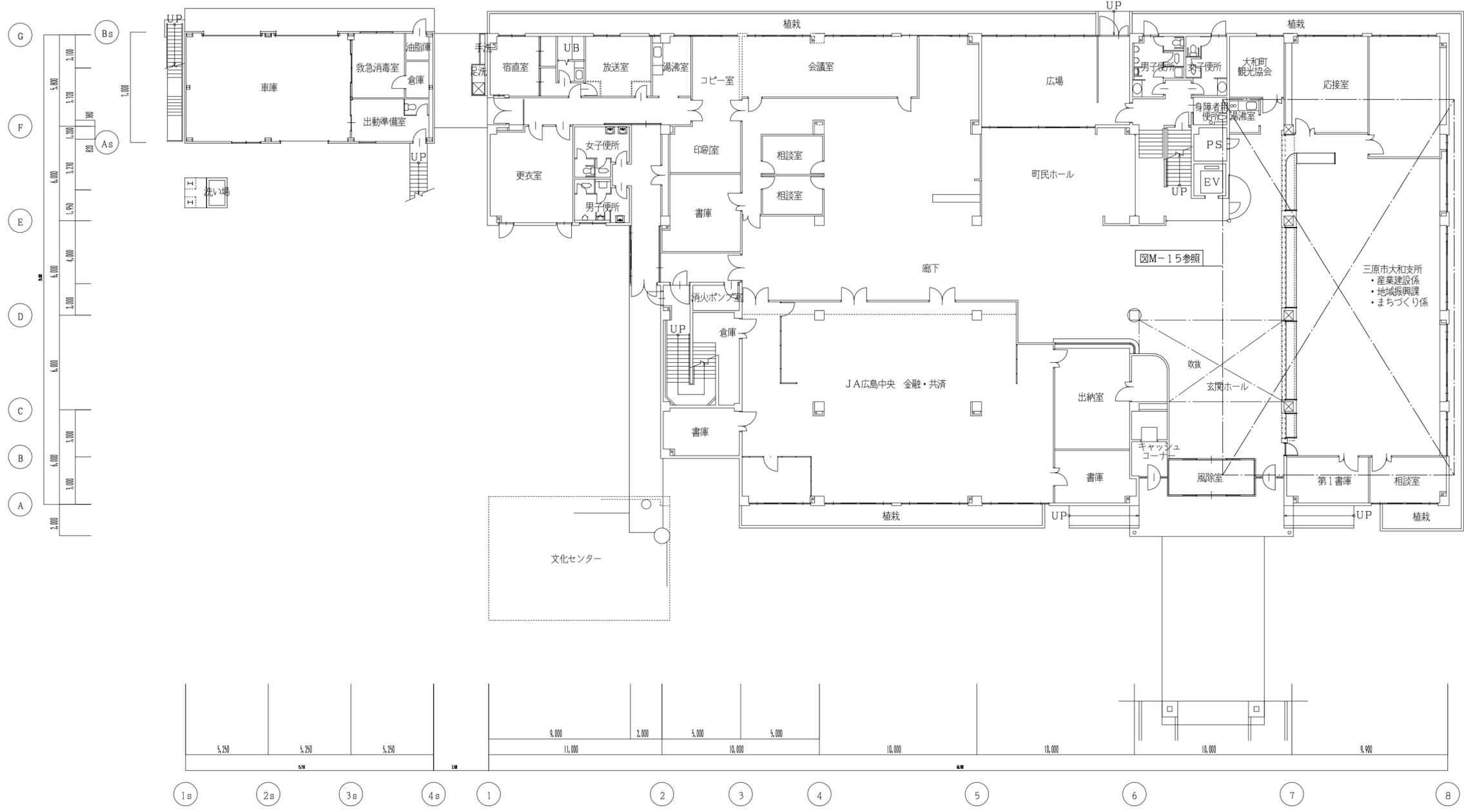
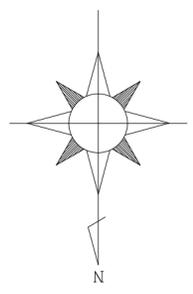
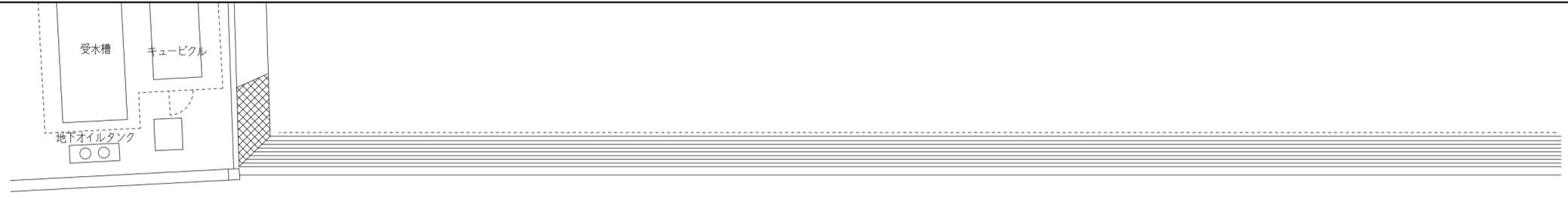
支所エリア	
●	点検口新設
	450×7箇所
●	天井開口 (天吊機器部)
	1000×450×4箇所
※機器に隠れるため復旧は不要	

相談室	
天井撤去復旧	
ロックウール化粧吸音板 t=9	
想定範囲	2.61㎡
※電気工事に伴う範囲	

凡例
 ☒ 点検口を示す。(実線:新設 破線:既設)
 ☒ 天井開口を示す。

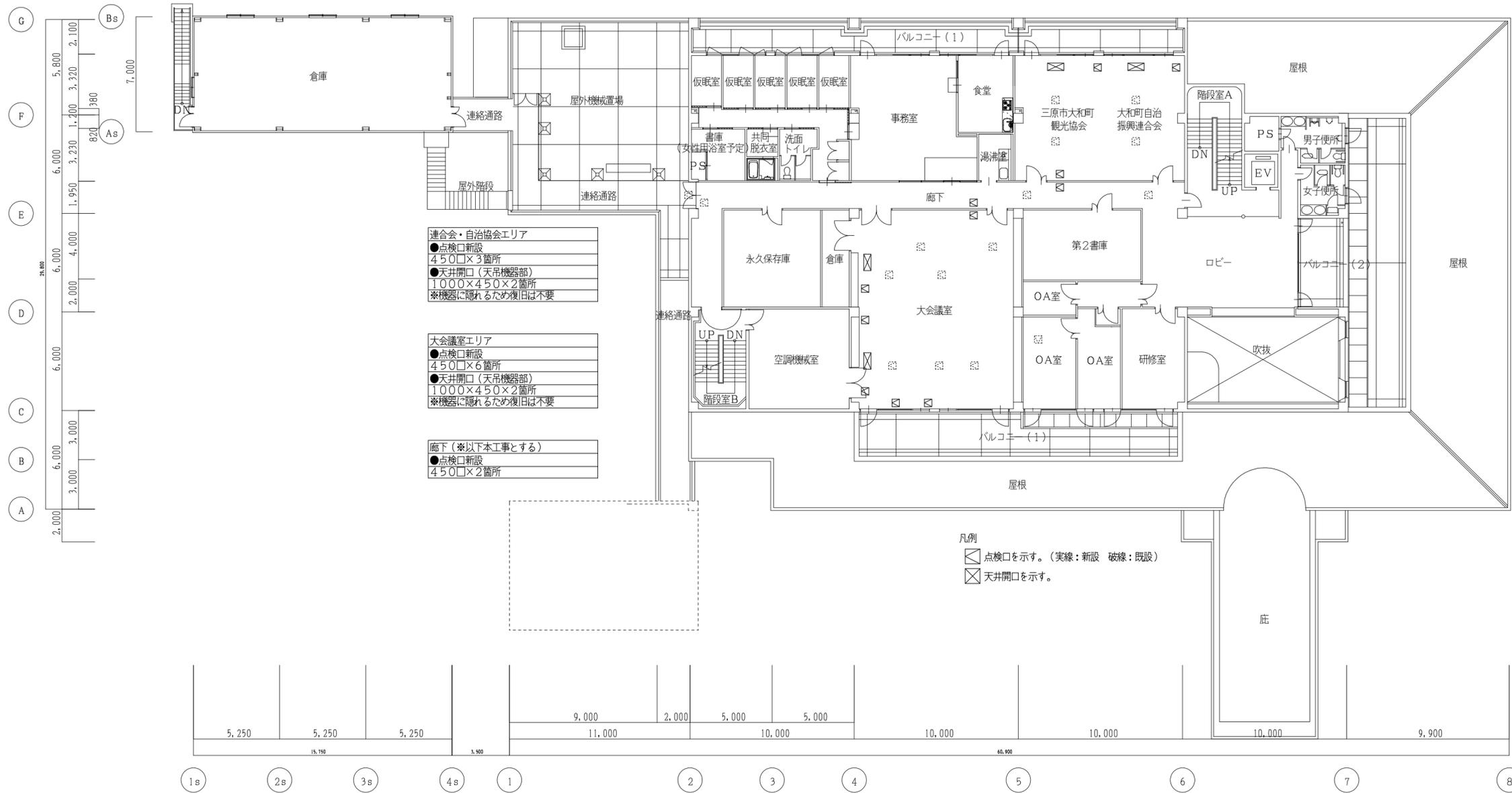
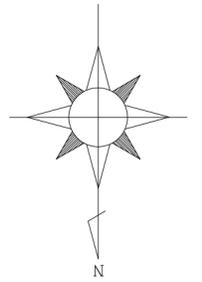


1階平面図 S=1/200



1階平面図 S = 1/200

	株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名	三原市大和支所空調設備改修工事	縮尺	1/200	図面番号	M
		図面名	建築工事 改修前 1階平面図				14



連合会・自治協会エリア
 ●点検口新設
 4500×3箇所
 ●天井開口(天吊機器部)
 1000×450×2箇所
 ※機器に隠れるため復旧は不要

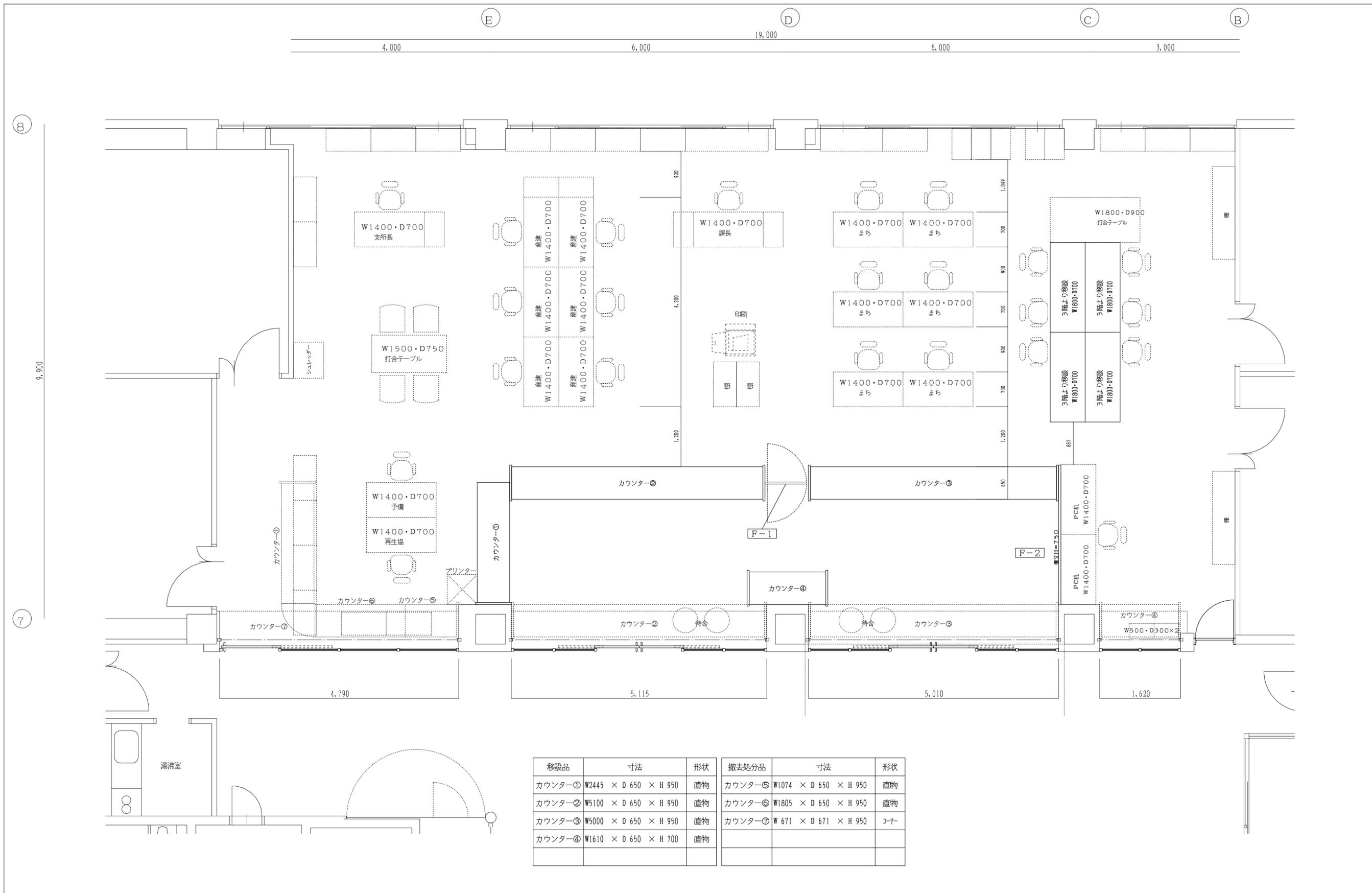
大会議室エリア
 ●点検口新設
 4500×6箇所
 ●天井開口(天吊機器部)
 1000×450×2箇所
 ※機器に隠れるため復旧は不要

廊下(※以下本工事とする)
 ●点検口新設
 4500×2箇所

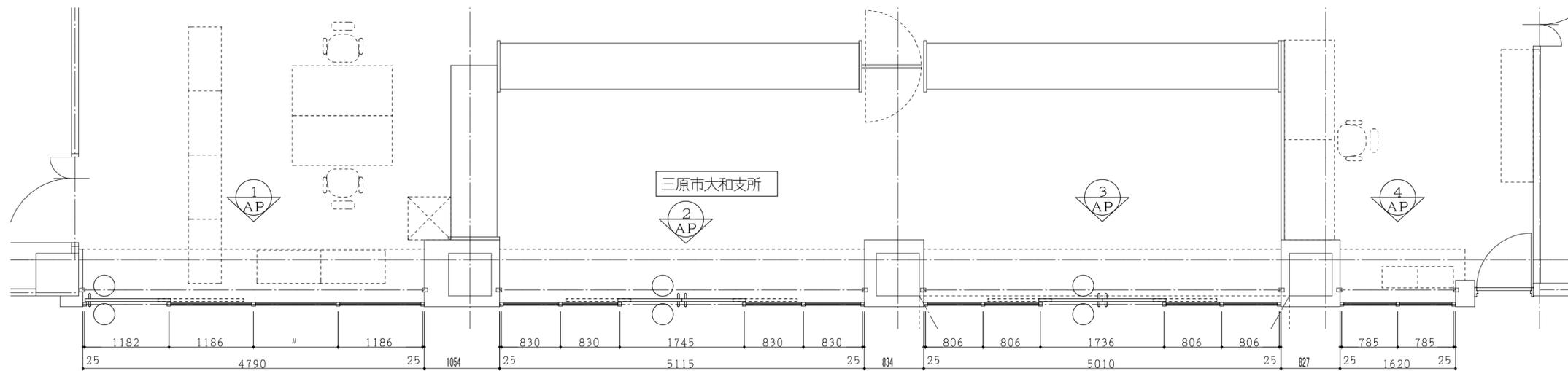
凡例
 ◻ 点検口を示す。(実線:新設 破線:既設)
 ⊠ 天井開口を示す。

2階平面図 S = 1/200

株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名 三原市大和支所空調設備改修工事	縮尺 1/200	図面番号 M
	図面名 建築工事 改修後 2階平面図		15



移設品	寸法	形状	撤去処分品	寸法	形状
カウンター①	W2445 × D 650 × H 950	直物	カウンター⑤	W1074 × D 650 × H 950	直物
カウンター②	W5100 × D 650 × H 950	直物	カウンター⑥	W1805 × D 650 × H 950	直物
カウンター③	W5000 × D 650 × H 950	直物	カウンター⑦	W 671 × D 671 × H 950	コーナー
カウンター④	W1610 × D 650 × H 700	直物			



三原市大和支所

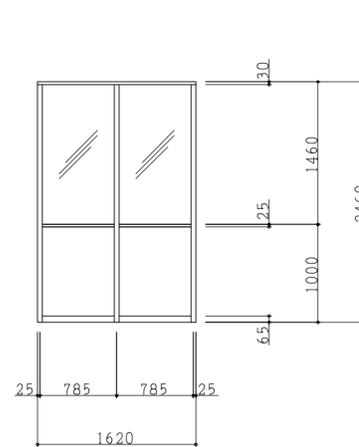
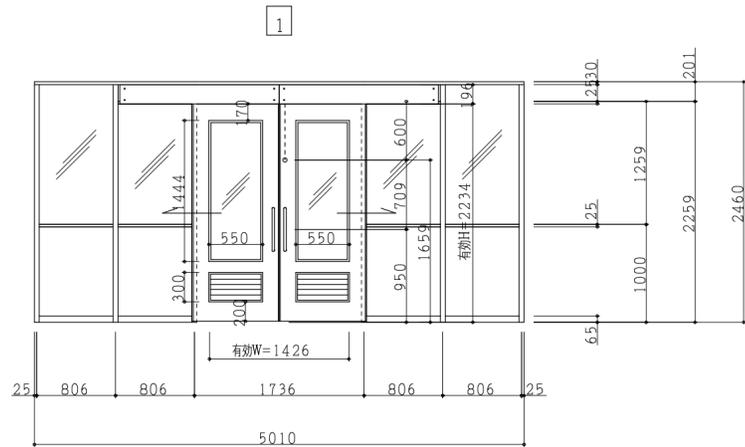
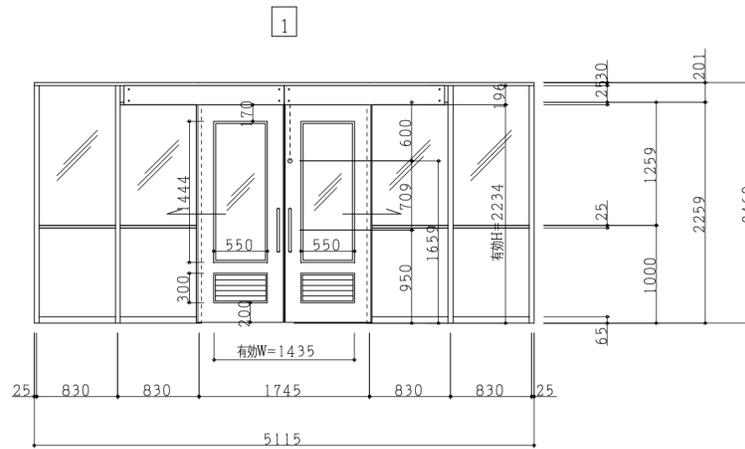
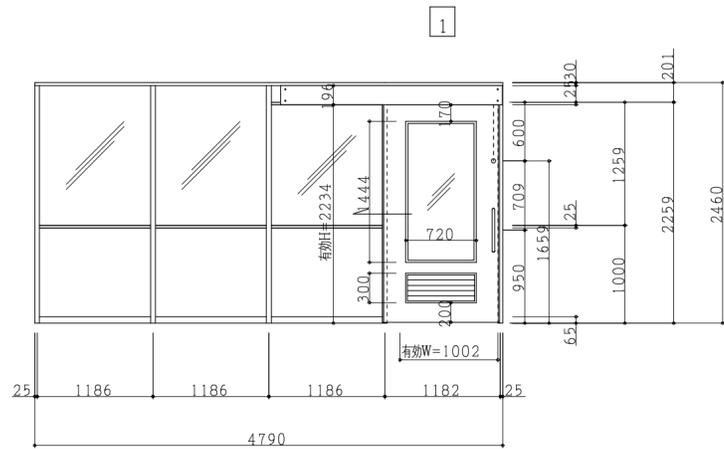
玄関ホール

① AP 中間(半)ガラス:透明5mm

② AP 中間(半)ガラス:透明5mm

③ AP 中間(半)ガラス:透明5mm

④ AP 中間(半)ガラス:透明5mm

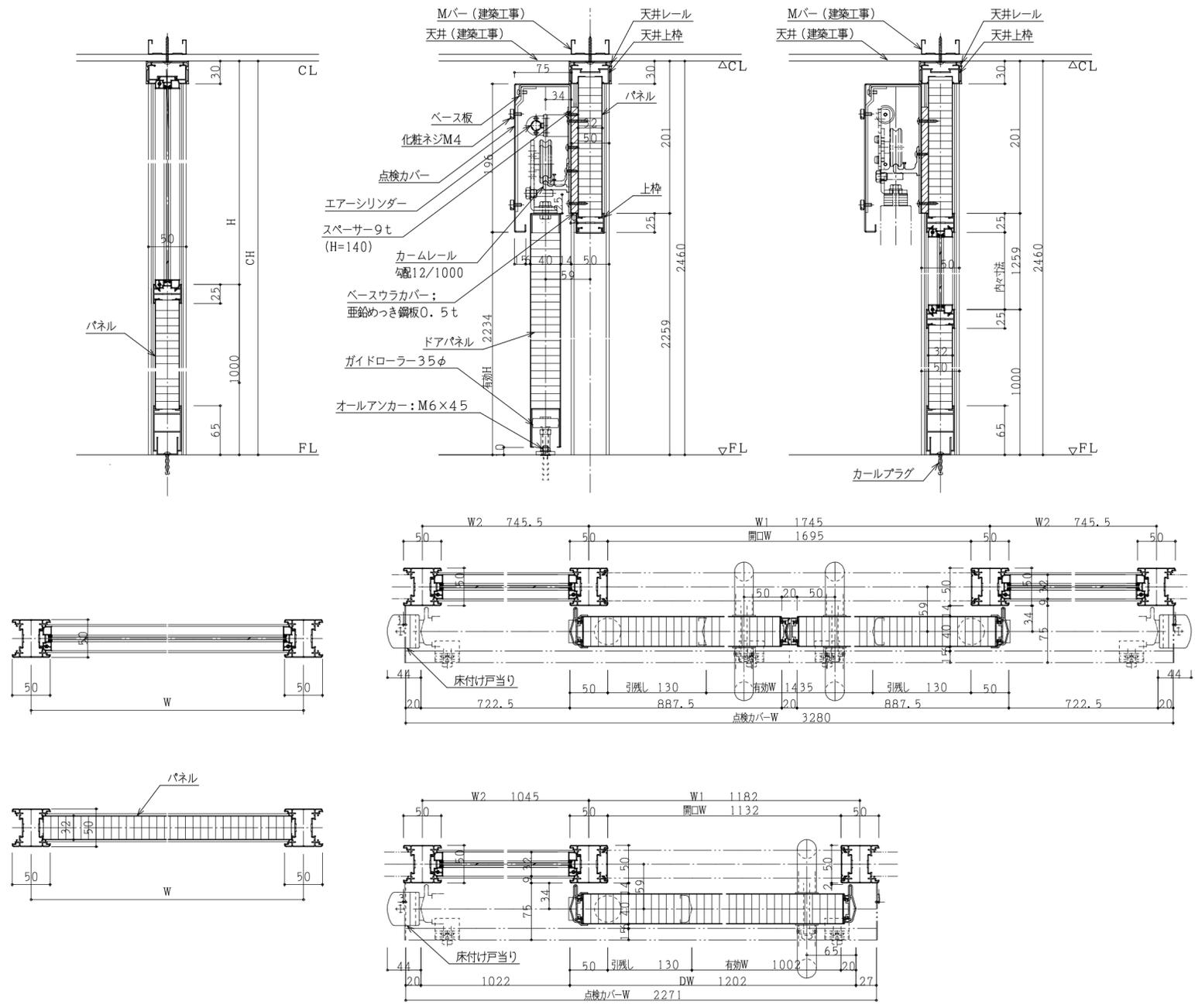


株式会社 設備計画
代表取締役 呼坂政明

工事名 三原市大和支所空調設備改修工事
図面名 建築工事 1階支所エリア パーテーション新設図

縮尺 1/50

図面番号 M
17

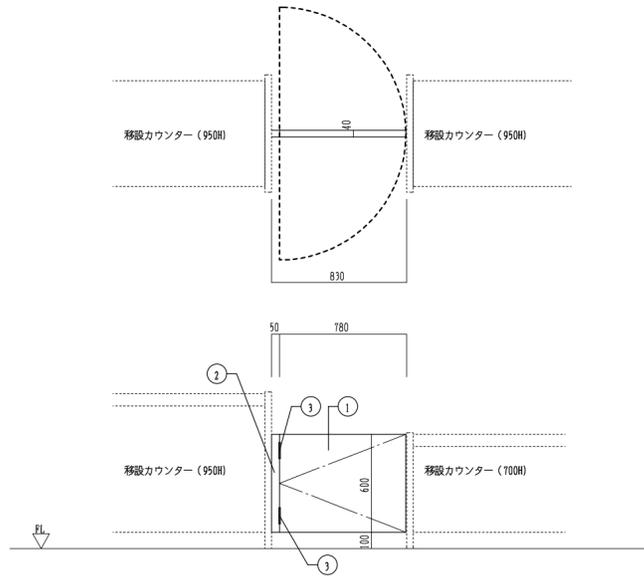


◇仕様表

(小松ワール工業 ナッパ-50SW同等品)

項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上>
	方立・コーナー方立	
	天井上枠・上枠	
	ドア上枠・ドア枠	
	巾木・床レール	
	コーナーカバー	
樹脂カバー関係	目地カバー	ポリ塩化ビニル <グレー>
	ガラスフレーム	ポリ塩化ビニル <グレー> 対応ガラス厚 3~8mm
パネル 厚み32mm	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.45mm <指定色焼付塗装仕上> 冷間圧延鋼板 0.45mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
自閉式吊戸	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	ベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm
	ベース板(L>3000) ※引分け	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
自閉式吊戸 金物	自閉装置	傾斜カムセット
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
切窓 ガラリ	戸当り	亜鉛ダイカスト(ベストDW-10)
	切窓・ガラリ	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル <グレー色>

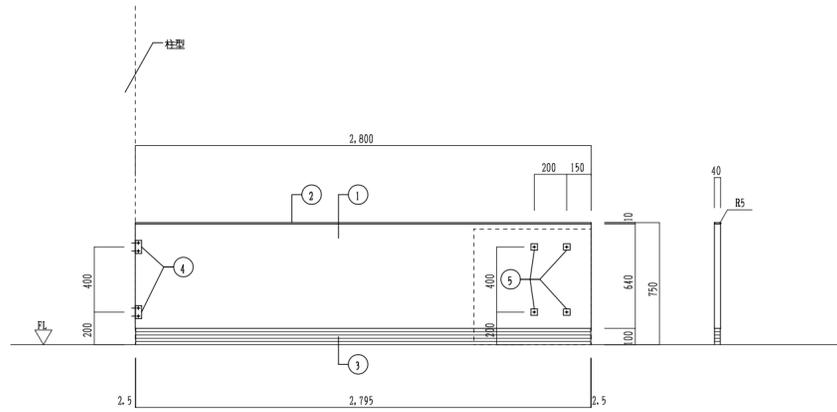
F-1 自在扉



符号	名称	材質	数量	備考
1	扉	木製(塩ビシート貼)	1	木目(既存色合わせ)
2	扉受材	↑	1	↑
3	丁番	SUS304	2	自由扉丁番

※図中寸法は参考寸法であり、現場実測の上 製作にかかること。

F-2 衝立



符号	名称	材質	数量	備考
1	パネル本体	木製(塩ビシート貼)	1	木目(既存色合わせ)
2	笠木	アルミ(塩ビシート貼)	1	↑
3	巾木	SUS304 t=0.8	1	黒仕上
4	取付金具	SUS304 t=2.0	2	黒仕上
5	取付金具	SUS304 t=2.0	4x2	既存レドバネと接続

※図中寸法は参考寸法であり、現場実測の上 製作にかかること。

参 考 数 量 書

工 事 名 称 三原市大和支所空調設備改修工事

[工事概要]

三原市大和町下徳良

用途,構造,面積

工 事 範 囲

機械設備工事

別 途 発 注 工 事

三原市大和支所太陽光発電設備等設置工事

工 期

契約締結日の翌日から 令和 7年3月31日までを工期とする.

一 般 事 項

《工事予算内訳》

設 計 金 額 ¥

(税込み)

〈内 訳〉

区 分

金 額

摘 要

工 事 価 格

消 費 税 額

設 計 金 額

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

機械設備工事 細目別内訳

大和支所		空気調和設備		機器設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ACP-1 パッケージエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン,インバーター制御,ツイン,天吊露出 冷房能力:20.0kW 暖房能力:22.4kW 附属品(屋内機):ワイートリコン ドレンアップ機,防振吊金具 附属品(屋外機):防振ゴム コンクリートブロック,転倒防止金物 他標準附属品一式	2	組			
ACP-2 パッケージエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン,インバーター制御,シングル,天井埋込型 冷房能力:10.0kW 暖房能力:11.2kW 附属品(屋内機):ワイートリコン ドレンアップ機,防振吊金具,フィルターボックス 附属品(屋外機):防振ゴム コンクリートブロック,転倒防止金物 他標準附属品一式	1	組			
ACP-3 パッケージエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン,インバーター制御,シングル,天井埋込型 冷房能力:5.6kW 暖房能力:6.3kW 附属品(屋内機):ワイートリコン ドレンアップ機,防振吊金具,フィルターボックス 附属品(屋外機):防振ゴム コンクリートブロック,転倒防止金物 他標準附属品一式	1	組			
ACP-4 パッケージエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン,インバーター制御,ツイン,天吊露出 冷房能力:25.0kW 暖房能力:28.0kW 附属品(屋内機):ワイートリコン ドレンアップ機,防振吊金具 附属品(屋外機):防振ゴム コンクリートブロック,転倒防止金物 他標準附属品一式	1	組			
ACP-5 パッケージエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン,インバーター制御,シングル,天井露出 冷房能力:12.5kW 暖房能力:14.0kW 附属品(屋内機):ワイートリコン ドレンアップ機,防振吊金具,フィルターボックス 附属品(屋外機):防振ゴム コンクリートブロック,転倒防止金物 他標準附属品一式	1	組			

機械設備工事 細目別内訳

大和支所		空気調和設備		機器設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ACP-6 パッケージエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン,インバーター制御,ツイン,天吊露出 冷房能力:14.0kW 暖房能力:16.0kW 附属品(屋内機):ワイートリフト ドレンアップ機,防振吊金具,フィルターボックス 附属品(屋外機):防振ゴム コンクリートブロック,転倒防止金物 他標準附属品一式	1	組			
ACP-7 パッケージエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン,インバーター制御,ツイン,天吊露出 冷房能力:12.5kW 暖房能力:14.0kW 附属品(屋内機):ワイートリフト ドレンアップ機,防振吊金具 附属品(屋外機):防振ゴム コンクリートブロック,転倒防止金物 他標準附属品一式	1	組			
ACP-8 パッケージエアコン	空冷ヒートポンプパッケージエアコン,インバーター制御,シングル,天井吊付型(4方向吹出) 冷房能力:7.1kW 暖房能力:8.0kW 附属品(屋内機):ワイートリフト ドレンアップ機,防振吊金具 附属品(屋外機):防振ゴム 他標準附属品一式	1	組			
基礎工事		1	式			別紙 00-0017
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0001
計						

機械設備工事 細目別内訳

大和支所		空気調和設備			配管設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
冷媒用 断熱材被覆銅管	6.35外径(1/4B) 液管 厚8mm	13	m				
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.52外径(3/8B) 液管 厚8mm	84	m				
冷媒用 断熱材被覆銅管	12.7 外径(1/2B) 液管 厚10mm以上	15	m				
冷媒用 断熱材被覆銅管	12.7 外径(1/2B) ガス管 厚20mm以上	13	m				
冷媒用 断熱材被覆銅管	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	73	m				
冷媒用 断熱材被覆銅管	25.4 外径(1 B) ガス管 厚20mm以上	27	m				
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 25A	42	m				
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 30A	2	m				
保温		1	式			別紙 00-0005	
はつり工事		1	式			別紙 00-0006	
配管分岐		1	式			別紙 00-0007	
電気工事		1	式			別紙 00-0016	
計							

機械設備工事 別紙明細

大和支所		空気調和設備			機器設備	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
基礎工事		1	式			別紙 00-0017
あと施工アンカ	M10	44	箇所			
溝形鋼	SS400 6t × 125 × 65	0.05	t			
根切り(人力)		4.7	m3			
埋戻し	人力 根切り土 -	4	m3			
砂利地業	切込み碎石	0.3	m3			
捨てコンクリート		0.3	m3			
コンクリート	生コン人力打設	0.8	m3			
型枠	一般用	2.5	m ²			
鉄筋	D10	23.8	kg			
計						

機械設備工事 別紙明細

大和支所		空気調和設備			機器設備	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0001
搬入費 (揚重機除く)	複数搬入 300kg/m3未満	0.3	t			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 20.0kW以下	2	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 10.0kW以下	1	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 5.6kW以下	1	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 25.0kW以下	1	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 12.5kW以下	2	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 14.0kW以下	1	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 7.1kW以下	1	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋内機 天井吊り - 10.0kW以下	5	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋内機 天井吊り - 5.6kW以下	1	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋内機 天井吊り - 12.5kW以下	3	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋内機 天井吊り - 7.1kW以下	3	台			
パナソニック形空気調和機(セレクトマルチ)据付	屋内機 天井吊り - 6.3kW以下	2	台			
計						

機械設備工事 別紙明細

大和支所		空気調和設備		ダクト設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
たわみ継手		1	式			別紙 00-0002
ダクト用たわみ継手		7	m			
計						
チャンバー類		1	式			別紙 00-0003
チャンバー (低圧用)	インサート無 0.8mm (751 ~ 1500mm)	3.4	m ²			
チャンバー (低圧用)	インサート無 1.0mm (1501 ~ 2200mm)	4.1	m ²			
計						
保温		1	式			別紙 00-0004
消音内貼り	標仕保温材 消音チャンバー ガラスウール 保温厚25	7.5	m ²			
計						

機械設備工事 別紙明細

大和支所		空気調和設備			配管設備	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温		1	式			別紙 00-0005
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 100A	4	m			
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 150A	29	m			
排水管 保温	標仕保温材 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスクロス 25A	42	m			
排水管 保温	標仕保温材 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスクロス 32A	2	m			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0006
機械はつり(ダクト フックによる 配管用貫通口)	200mm程度 100mm	8	か所			
計						
配管分岐		1	式			別紙 00-0007
配管分岐 (樹脂管類) ・手間のみ	配管分岐 25A 保温有	8	か所			
配管分岐 (樹脂管類) ・手間のみ	配管分岐 30A 保温有	2	か所			
計						

機械設備工事 別紙明細

大和支所		撤去工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
弁類撤去		1	式			別紙 00-0011
ファンコイルバルブ撤去	20A	4	個			
ファンコイルルキ撤去	20A	4	個			
電動弁撤去	20A	2	個			
ルキゾイント撤去	オイル配管 40A	1	個			
ルキゾイント撤去	オイル配管 25A	1	個			
ルキゾイント撤去	オイル配管 20A	1	個			
仕切弁撤去	オイル配管 25A	1	個			
仕切弁撤去	オイル配管 20A	1	個			
通気弁撤去	オイル配管 32A	1	個			
計						

機械設備工事 別紙明細

大和支所		撤去工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温類撤去		1	式			別紙 00-0012
排水管 保温撤去	ガラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 25A 再使用しない	3	m			
スパイラルダクト保温 撤去(32K)	ロックウール・ガラスウール 屋内隠ぺい,ダクトシャフト内 アルミガラスウール 再使用しない	2.3	m ²			
消音内貼り撤去	ロックウール・ガラスウール サファイヤンパ 保温厚25 再使用しない	6.1	m ²			
計						
配管切断		1	式			別紙 00-0013
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 20A 保温無	2	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 25A 保温無	1	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 40A 保温無	1	か所			
配管切断 (樹脂管類) ・手間のみ	配管切断 25A 保温有	3	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 15A 保温有	2	か所			
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 200A 保温有	1	か所			
計						

